

# セイフルニュースレター

## 省エネ“なう”通信



2025年4月号

第130号

セイフルの最新情報はこちらから  
[www.safulle.co.jp](http://www.safulle.co.jp)



事業内容: 工業用配管設備工事 / サニタリー配管工事 / 冷暖房空調設備工事 / 防犯設備工事(ISO対象外)  
さく井工事 / 衛生設備工事 / 消防設備工事 / LPガス販売事業 / ガス、厨房設備工事 / 家庭用通信機器事業



## コンプレッサの暑さ対策

### 吸込温度低減で故障防止



このようなお悩みや状況はございませんか？

- ✓ 夏になるとコンプレッサ室が暑くなる(40℃以上)…
- ✓ コンプレッサ室が暑くなって吸込温度が上がると、エアが足りなくなる…
- ✓ さらに、室内に熱がこもるとコンプレッサが止まったり、故障が増える…
- ✓ 本体の故障も増えて、買替えの購入費も嵩む…



## 吸込温度の低減で解決！

～吸込温度を低減させる方法はこのようなものがあります！～



屋根・壁からの  
熱の流入を防ぐ



排気用ダクトを  
接続して遮熱する



給気量・排気量を  
見直す



「地下水ユニットクーラー」で  
吸込温度を25℃まで下げる



省エネ・コスト削減・設備のことなら  
何でもお気軽にご相談ください



埼玉県深谷市上野台2423-6  
TEL:048-572-2442 FAX:048-572-6840  
担当: 棚澤・舞原(たなざわ・まいはら) [www.safulle.co.jp](http://www.safulle.co.jp)

# コンプレッサの暑さ対策事例 ～吸込温度の低減～

事例

## 遮熱シートを活用して 吸込温度を低減した事例

エリア 埼玉県北エリア

業種 製造業

課題 夏にコンプレッサの吸込温度が上がりすぎて緊急停止

解決方法 遮熱シートを屋根裏と排気ダクトに施工



### お困りごとの内容

毎年夏になるとコンプレッサ室内の温度が上昇し熱がこもることで、コンプレッサによるトラブルが頻繁に発生していました。エア供給が止まると製造ラインへの影響も生じてしまうことから、何とか対策したいとお考えでした。現場調査したところ、コンプレッサ室全体の給排気は適切にされておりました(給気ガラの設置・コンプレッサ廃熱の排気ダクト設置)。しかし、サーモグラフィで熱の様子を測ると、**屋根裏(太陽光の輻射熱)やむき出しの排気ダクトからの放熱により、室内に熱がこもってしまうことがわかりました。**

### 弊社からご提案した「遮熱シート」

そこで弊社がご提案したのが「遮熱シート」です。厚さ0.5mmの超薄型のアルミ純度99%の特殊シートで輻射熱を97%反射(遮熱)する効果を持ちます。



### 室内の屋根裏に遮熱シート施工

この遮熱シートをコンプレッサ室の屋根裏に施工して、**夏場の屋根から流入する熱を遮熱**させました。以前は、夏場になると40℃を超えてしまうような室内環境でしたが、**室内が外気温程度(最大35℃前後)までしか上がらなくなりました。**

### 排気ダクトに遮熱シート施工

また、むき出しの排気ダクトにも遮熱シートを施工しました。通常、排気ダクトには断熱材を巻き付けることが多いのですが、遮熱シートは断熱材よりも放熱を抑制することができるため、より効果的に室内の温度上昇を防ぐことができます。結果的に**排気ダクトの放射温度41.6℃⇒32.4℃まで低減し、排気ダクトからの放熱が少なくなり、室温の低減に寄与し夏のコンプレッサのトラブルをなくすことに成功しました。**



コンプレッサの暑さ対策はセifulまでお気軽にご相談ください。

お客様お問い合わせ記入欄

内容に関して、ご興味がありましたら下記をご記入の上 FAXして頂くか、お電話にてお問い合わせ下さい。

- コンプレッサの暑さ対策について相談したい  
 現場調査して提案してほしい

WEBフォームからも  
お問い合わせ頂けます



TEL:048-572-2442 FAX:048-572-6840

貴社名:

ご担当者名:

ご住所:

電話番号:

メールアドレス:

@